

## 令和6年度中小企業CO<sub>2</sub>排出量管理システム導入支援事業募集要項

### (趣旨)

第1条 この要項は、神奈川県地球温暖化対策推進条例（平成21年神奈川県条例第57号。以下「条例」という。）第13条第2項に規定する支援として、神奈川県（以下「県」という。）が実施する「中小企業CO<sub>2</sub>排出量管理システム導入支援事業」のうち、CO<sub>2</sub>排出量管理システム導入支援への参加事業者の募集に関して、必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 この要項において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号の定めるところによる。

#### (1) 中小企業等

次のアからキのいずれかに該当する者をいう。

ア 中小企業者（中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項に規定する中小企業者をいう。以下同じ。）であって、次に掲げる要件のいずれかに該当するものを除いたもの

(ア) 同一の大企業（中小企業者以外の者をいう。以下この号において同じ。）が当該中小企業者の発行済み株式の総数又は出資金額の総額の2分の1以上を所有していること。

(イ) 大企業が当該中小企業者の発行済み株式の総数又は出資金額の総額の3分の2以上を所有していること。

(ウ) 大企業の役員又は職員が、当該中小企業者の役員の総数の2分の1以上を兼務していること。

イ 学校法人

ウ 一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人及び特定非営利活動法人

エ 医療法人

オ 社会福祉法人

カ 中小企業団体の組織に関する法律（昭和32年法律第185号）第3条第1項に規定する中小企業団体

キ アからカに掲げる者に準ずるものとして知事が適当と認める者

#### (2) 中小規模事業者等

条例第11条第4項に規定する中小規模事業者等（条例第57条第2項の規定に基づき、条例の条の規定の適用を除外することとした市町村の区域にのみ工場又は事務所その他の事業場（以下「工場等」という。）を所有

する中小規模事業者等を含む。)をいう。

(3) CO<sub>2</sub>排出量管理システム

事業者の電力使用量等の活動量を入力又はデータの連携等を行うことで、事業者が排出するCO<sub>2</sub>等温室効果ガス排出量の算定・可視化・削減管理をするクラウドサービス等をいう。

(4) 委託事業者

県が本事業の実施を委託する事業者（e-dash株式会社）をいう。

(5) 支援参加者

本事業の支援を受ける事業者をいう。

(支援の内容)

第3条 県及び委託事業者は、支援参加者に対して、次の各号の支援を無料で提供する。

(1) CO<sub>2</sub>排出量管理システムを利用したCO<sub>2</sub>排出量の算定・可視化

e-dash株式会社のCO<sub>2</sub>排出量管理システム「e-dash」を提供する（対象となる工場等は、1支援参加者につき5拠点以内）。

(2) CO<sub>2</sub>削減目標の設定に関する助言等の支援

支援参加者のエネルギー使用状況や事業形態、経営状況などを総合的に勘案し、必要に応じてCO<sub>2</sub>削減目標の設定に関し助言等の支援を行う。

(3) CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた提案

支援参加者のエネルギー使用状況及びCO<sub>2</sub>削減目標等を踏まえて、県の各種補助制度等の情報提供も含めて、業務の改善や設備投資などのCO<sub>2</sub>排出量削減につながる具体的な取組を提案する。

(支援参加要件)

第4条 本事業の支援を受けることができる者は、次の各号に掲げる全ての要件を満たす者とする。

(1) 中小企業等であること。

(2) 中小規模事業者等であること。

(3) 県内に工場等を所有していること。

(4) CO<sub>2</sub>排出量管理システムをこれまで使用したことがないこと。

(5) 次に掲げる要件のいずれにも該当しない者であること。

ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下この号において「法」という。）第2条第2号に規定する暴力団員 役員等（支援を受けようとする者が個人である場合はその者を、法人である場合にはその役員をいう。以下同じ。）が法第2条第6号に規定す

- る暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（以下この号において「暴力団員等」という。）であると認められる事業者
- ウ 暴力団又は暴力団員等が出資、融資、取引その他の関係を通じてその事業活動に支配的な影響力を有する事業者
- エ 暴力団又は暴力団員等に対して、利益供与をしている事業者又は事業の委託、請負などの契約関係にある事業者
- オ 役員等が暴力団又は暴力団員等と密接な関係を有すると認められる事業者
- カ 次条に規定する事業参加申込の日から3年以内に、環境関係法令又は環境関係条例に係る規定に違反し、行政処分又は刑罰を受けている者

（申込手続き）

第5条 本支援を受けようとする者は、委託事業者が定期的又は随時開催する説明会において、本事業及びCO<sub>2</sub>排出量管理システムに関する説明を聞いた上で、事業参加申込を行うものとする。

- 2 前項の説明会の申込みは、令和6年5月20日から受付を開始し、支援参加者が定員に達した日又は令和7年1月31日のいずれか早い日に受付を終了する。

（支援の決定）

第6条 委託事業者は、前条第1項の規定により事業参加申込を行った者が第4条に規定する要件を満たすことを確認する。

- 2 委託事業者は、前項の確認の結果、要件を満たすことが認められた場合、当該事業参加申込者を支援参加者として決定し、CO<sub>2</sub>排出量管理システムの利用開始案内を送付する。

- 3 委託事業者は、第1項の確認の結果、要件を満たさないと認められるときは、当該事業参加申込者に対して、その理由を付して通知する。

（支援の期間）

第7条 支援参加者は、支援の決定から令和7年2月28日までの間、第3条に規定する支援を受けることができる。

- 2 県及び委託事業者は、支援参加者が第4条に規定する要件を満たさないことが明らかとなった場合、前項の規定にかかわらず、当該支援参加者に対する支援を終了することができる。

（調査等への協力）

第8条 支援参加者は、支援の期間中、県又は委託事業者が実施するヒアリング又はアンケート調査に、可能な限り協力するものとする。

(支援終了後のデータの削除)

第9条 委託事業者は、本事業による支援が終了した後、支援参加者が本事業においてCO<sub>2</sub>排出量管理システムに入力したデータを削除する。なお、次項により、継続利用を希望した支援参加者に関してはこの限りではない。

2 本事業による支援が終了した後も、引き続き、CO<sub>2</sub>排出量管理システムの継続利用を希望する支援参加者は、委託事業者と支援参加者の間で、有料による利用契約を個別に締結することにより、本事業において入力したデータを引き継ぐことができる。この場合、県は、支援の期間終了後に委託事業者が提供するサービスや委託事業者と支援参加者との契約に関して、一切の責任を負わないものとする。

附 則

この要項は、令和6年5月20日から施行する。